

群馬避難総合対策チーム全体会議（第5回）

議事要旨

1 日時

令和6年6月24日（月） 10:00～11:45（WEB会議）

2 出席者

- ・市町村防災担当部課(室)
- ・県関係部課
- ・外部関係機関

前橋地方気象台、特定非営利活動法人日本防災士会群馬県支部、社会福祉法人群馬県社会福祉協議会、群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんま DWAT）

- ・アドバイザー

金井アドバイザー、阪本アドバイザー、榛沢アドバイザー

3 議事

- ・令和5年度における専門チームの事業報告について
- ・令和6年度における専門チームの事業予定について
- ・KPIの実績と変更について
- ・令和6年能登半島地震被災地への支援について

4 議事要旨

出席者からいただいた主な御意見は以下のとおり

- ・個別避難計画について、現時点では要支援者ではなくても、年数の経過とともに支援が必要になる方もいるため、「全部策定」との表現には注意を要するとともに、今後も継続的にチェックしていく必要がある。
- ・能登半島地震の被災地では、旅館・ホテルに避難された方の情報をどのように把握するかが課題となったため、DXを活用することによって情報共有できる仕組みがあるとよい。
- ・現状、各自治体が保有する移動式トイレの数はまだ不足していることから、移動式トイレを複数保有する事業者等との協定締結も有効である。
- ・能登半島地震では、循環式シャワーが複数の避難所に設置されたが利用したことのない自治体も多く、また自衛隊からの入浴支援も一部の地域に限られたという現状がある。入浴支援の体制整備についても御検討いただきたい。
- ・能登半島地震を通じて感じたのは、災害時に特定の市町村職員に業務が集中し、他機関からの照会や支援の申出への返答が滞ってしまうという問題である。ガイドラインやマニュアルを定めても、災害時にどのような指示に対して誰がどのように動くのか、ということを具体的に検証してみないと、現場では機能しないことを御理解いただきたい。

以上